

○水戸市介護老人保健施設基準条例の施行に伴う経過措置を定める規則

令和 2 年 3 月 31 日

水戸市規則第96号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、水戸市介護老人保健施設基準条例（令和 2 年水戸市条例第16号。以下「条例」という。）付則第 7 項の規定に基づき、条例の施行に伴い必要な経過措置を定めるものとする。

(経過措置)

第 2 条 一般病床、精神病床（健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）附則第130条の 2 第 1 項の規定によりなおその効力を有するものとされた介護保険法施行令（平成10年政令第412号）第 4 条第 2 項に規定する病床に係るものに限る。以下同じ。）又は療養病床を有する病院の開設者が、当該病院の一般病床、精神病床又は療養病床を令和 6 年 3 月 31 日までの間に転換（当該病院の一般病床、精神病床若しくは療養病床又は当該診療所の一般病床若しくは療養病床の病床数を減少させるとともに、当該病院又は診療所の施設を介護老人保健施設、軽費老人ホーム（老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の 6 に規定する軽費老人ホームをいう。）その他の要介護者、要支援者その他の者を入所又は入居させるための施設の用に供することをいう。以下同じ。）を行って介護老人保健施設を開設する場合における当該転換に係る食堂については、条例第 7 条第 2 項第 2 号中「2 平方メートル」とあるのは、「1 平方メートル」とする。

2 一般病床又は療養病床を有する診療所の開設者が、当該診療所の一般病床又は療養病床を令和 6 年 3 月 31 日までの間に転換を行って介護老人保健施設（ユニット型介護老人保健施設を除く。）を開設する場合における当該転換に係る食堂については、条例第 7 条第 2 項第 2 号の規定にかかわらず、次の各号に掲げる基準のいずれかに適合するものとする。

(1) 機能訓練室の面積と合計した面積を 3 平方メートルに入所定員数を乗じて得た面積以上とするとともに、食事の提供に支障がない広さを確保すること。

(2) 1 平方メートルに入所定員数を乗じて得た面積以上を有すること。

3 一般病床、精神病床若しくは療養病床を有する病院又は一般病床若しくは療養病床を有する診療所の開設者が、当該病院の一般病床、精神病床若しくは療養病床又は当該診療所の一般病床若しくは療養病床を令和 6 年 3 月 31 日までの間に転換を行って介護老人保健施設を開設する場合における当該転換に係る建物については、条例第 8 条第 1 項第 1 号の規定は、適用しない。

4 一般病床、精神病床若しくは療養病床を有する病院又は一般病床若しくは療養病床を有する診療所の開設者が、当該病院の一般病床、精神病床若しくは療養病床又は当該診療所の一般病床若しくは療養病床を令和 6 年 3 月 31 日までの間に転換を行って介護老人保健施設を開設する場合における当該転換に係る屋内の直通階段及びエレベーターについては、条例第 8 条第 1 項第 2 号中「屋内の直通階段及びエレベーターをそれぞれ 1 以上設けること」とあるのは、「屋内の直通階段を 2 以上設けること。ただし、エレベーターが設置されているもの又は 2 階以上の各階における療養室の床

面積の合計がそれぞれ50平方メートル（主要構造部が耐火構造であるか、又は不燃材料で造られている建築物にあっては100平方メートル）以下のものについては、屋内の直通階段を1とすることができる」とする。

- 5 一般病床、精神病床若しくは療養病床を有する病院又は一般病床若しくは療養病床を有する診療所の開設者が、当該病院の一般病床、精神病床若しくは療養病床又は当該診療所の一般病床若しくは療養病床を令和6年3月31日までの間に転換を行って介護老人保健施設を開設する場合における当該転換に係る療養室に隣接する廊下については、条例第8条第1項第5号ア及び第48条第4項第5号アの規定にかかわらず、幅は、1.2メートル（中廊下にあっては、1.6メートル）以上とする。
- 6 平成17年10月1日以前に法第94条第1項の規定による開設の許可を受けている介護老人保健施設であって、条例第5章（第48条第2項第1号ア（イ）を除く。）に規定する基準を満たすものについて、同号ア（イ）の規定を適用する場合においては、同号ア（イ）中「2平方メートルに当該共同生活室が属するユニットの入居定員を乗じて得た面積以上を標準」とあるのは、「当該ユニットの入居者が交流し、共同で日常生活を営むのに必要な広さ」とする。

付 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。